

# 恵みと真理のニュース



2014年12月の二次 恵みと真理教会

韓国 京畿道 安養市 萬安区 安養5洞 458-5 / ☎82-31-443-3731 / www.gntc.net



## [証]

### 人生の中で豊かで多彩な救いの恵みを与えて下さり主の事に

#### 献身するように導いてくださった神様に感謝します。

私は田舎で農業しましたが大人になる前に都市で生活しました。そうするうちに節制もない喫煙と飲酒で体と心が荒んでました。ある日からお腹の痛みと下痢が止まらなかったです。病院に行っても特に以上はありませんでした。うまく当てる占い師に行ったら夜明けに祖父のお墓に行って生肉を持って祭祀をするとすぐ治ると言われました。信じられない話でしたが、もしかして治ると思って言ったとおり行ないましたが治らなかつたです。

イエス様を信じる妻が前から伝道して共に礼拝をする事を勧めましたが行かなかつたです。車で妻を教会に連れて行くときにも礼拝は参席しなくて礼拝が終わるまで車の中で待っていました。しかし、今は自ら教会に行き礼拝を捧げ神様に祈りたかつたです。妻と共に初めて礼拝を参席した時にはとても眠くて説教の御言葉がむずかしかつたのですが、祈りの時間に健康のため祈ると心と体が平安になることを感じました。続けて教会を通う時に知り合いの人からシンチョンの大学病院を紹介され診療を受けました。検診の結果の病名は過敏性大腸炎で腸が弱くなり長い間治療を受けなければならぬと言われました。病名を知ったことでも神様に感謝をしました。そして神様に医師を通して治療して下さる事を信じました。

医師はすぐお酒とタバコを辞めなさいと言われましたが自分の意志では止められなかつたです。薬局で薬を貼ったり飲んだりしましたが、効果がなかつたです。

神様の助けを求めながら続けて祈りました。禁煙と断酒に対する決心をして 署理執事の任命を受け金曜日の礼拝を参席したときでした。

説教を聴いて切に祈りをする時に急に体が熱くなりどんな言葉で祈りをしたか分からなくて涙と汗をたくさん流しました。今考えてみると聖霊が望んだことでした。すぐ次の日からタバコを吸いたくなかつたです。私もこんな自分が信じられませんでした。葬式場にも行っても取引先の任職員達と食事のときにもさまざまな会食のときにもお酒とタバコをしないようになりました。そればかりでなく、今まで居眠りばかりした私が説教を集中して聴いて従順するように熱心に祈るようになりました。会う人々にも“イエス様を信じて救いを受けなさい。”と言いました。すると私を知っていたすべての人々は変った私を見て驚きました。私は小規模でプラスチック製造業をしています。周りからお酒とタバコしないでどうやって営業をして工場の職員達と疎通をするのか聞く人も多かつたでした。しかし、神様の栄光と主が喜ぶ事を考え少しも悩まなかつたでした。神様の子供らしく行なって神様に祈るとだ助けて下さる事を信じました。その信仰の通り神様は多くの恵みを与えてくださいました。神様の摂理で時取引先から助けられました。

ある日は腰が痛くて病院に行き検診を受けたら“脊椎の4番と5番が抜けている。”と言われました。病名は“脊椎ヘルニア”で他の病院でも同じくすぐ手術をしないと行けないし、大きい手術なので手術を受けた後には肉体的に大変な事は出来ないと言われまし

た。その話を聞いて事業場を整理して閉業する準備をしました。そうするうちに当会長の神癒のため祈りを受けました。妻と娘も共に切ない心で祈ってくれて教会の奉仕部の聖徒達も祈ってくださいました。

全能で慈しみ深い、愛が溢れる主が祈りに答えてくださいました。祈っていた娘が最後なのでソウル大学病院に行き診療を受けてみようと思進んで娘の話のとおりました。私を検診した医師は手術の前に注射治療をしてみても治らないとその後手術を決定することにしました。結局手術を受けなくて神様は勇気を与えて下さり治療を受けながら体の管理をして以前の健康を回復して続けて工場をよく運営することができました。その意外にも神様は肺と大腸で癌になる ポリープを先に発見され治療を受けるように導いてくださいました。言葉では表現できないほど多くの愛と恵みを与えてくださいました。特に神様の恵みでGNTCミュージカル“神様の息子である”公演に参加する機会が与えイエス様の寄生と献身と大きい愛をもっと深く体験し聖霊に満たされました。

“あなたの業を主にゆだねれば／計らうことは固く立つ。”(箴言16:3)

御言葉のとおりに神様に感謝しすべてのことを委ね神様の栄光のため生きます。神様の時によって恵みで男性区域長、安手執事、男性奉仕連合会と聖歌隊員のすべての奉仕と職分を忠誠を尽くして信じる家庭の模範となることを願いすべての栄光を神様に捧げます。ハレルヤ!



## [信仰コラム]

### 本質上の問題

“また、わたしたちもみな、かつては彼らの中にいて、肉の欲に従って日を過ごし、肉とその思いとの欲するままを行い、ほかの人々と同じく、生れながらの怒りの子であった。”(ガラテヤの信徒への手紙 4:8、エフィソの信徒への手紙 2:3)

全ての人々が同一に持っており、避けられない重大な問題は大体いくつかで、指ができません。どんな方は罪の問題、どんな方は死の問題だと言うことです。またどんな方は“何よりも、この世の中で毎日を買うのが一番大きな問題です。”と話したい方があるかも知れません。そうです。戦争、自然災害、疾病、各種の事故、経済危機などの脅威と無縁の人はありません。ところで、このすべての問題と関連したストーリーになる問題は二種類です。

第一は、神様を知らないことで、本質上神様がない者たちに下人の役割する問題です。人たちは、物事の本質よりも外形に執着して実状がなく、虚像にしがみつきする弊害があります。これはサタンの幹事した計略に属します。人たちに最も大きな問題は本質上、神様がない者たちに下人の役割することです。どんな品物を神聖視して仕えたり、木や石、太陽と月のような自然物を神聖視し、仕える人々がそうです。いわゆる高等宗教に分類されるものを信奉する人々も同じです。どのように分類されも実状は

全て本質上、神様がないことに仕えています。その理由は、神様を分かっているためです。罪人の人生、いかなる方法でも神様を知ることはできません。神様が人間に自信を示して分かるようにしてくださいなければ人が神様を知り合いになります。万物を注意深く観察し、創造主がいたのは分かるようになるとしても創造主が人間を救うため、何かを計画して成し遂げてを知りません。神様がこれに関して何度も様々な形で啓示しました。時が満ちてイエス・キリストが世の中に来て贖罪の死を死ぬて復活しました。神が言った言葉と行われた事たち、そして使徒たちを通じてくれた話が記録されるようにして人生に与えました。聖霊が私の心を開いて悟るようにならなければ聖書を通じて創造主で罪人を救ってくれる神様を知って信じるようになります。

第二は、本質上、神野の子供になった問題です。世の中には2種類の子供がいます。、本質上神の子どもと、神様の子供です。人類の先祖アダムが犯罪によって人は日の時から罪人です。アダムとが人類の代表者になった原理によってアダムの子孫として生まれた私たちが皆罪人になったが、この原理によって義人になる道が開かれています。人類の代表者で、イエス様がいらっしやって人類の罪を贖罪したからです。イエス・キリストを信じる人はアダムが代表者ではない、イエスが代表者になります。それで、イエス・キリストの義が転嫁されて、義人になります。'本質上、神様がない者たち'をあらゆる

方法に飾られるしても神様にはできません。'本質上、神野の子供'をあらゆる方法で包装しても、神様の子供がなりません。神野は審判をもたらします。死は罪人に審判の執行です。この世の中に生きの間は執行猶予期間です。審判は、地獄の刑罰に直面するのです。死んだ後には再び機会がありません。

本質の変化は、イエスキリストの中で、行われます。罪を許され、刑罰の免除を受けることになる道は、イエス・キリストを信じる道だけです。キリスト人は、本質が変化した人です。して生まれ変わって新しい命を受けた人になりました。新たな被造物になって真人間になりました。このような変化は外形上の変化ではなく、本質の変化です。'本質上、神野の子供'が、神様の子供'になる変化です。神様の子供になった人は自分の令が神様の子供のことを証言します。神様を'私の父神様'と呼びます。良いことを経験しながら、父親の神様からもらったことを感謝することになります。神様の子供には神様の怒りの代わりにキリストと共にした相続者の身分が与えられます。

「チョヨンモク牧師先生の信仰コラム『緑の牧場、清い川』本の語り中」

## 良い結末が保障された人



恵みと真理教会 チョヨンモク 牧師

“終りが良いと皆が良いのだ。”という格言があります。何の事でも過程が重要だが結末はもっと重要です。結末が良ければ大変だった過程は美しい思い出になります。そして価値あってやりがいのあるようになります。しかし結末が良くなければその間の努力と手数が皆無駄になります。怠けるとか、挑戦して見なくてあきらめてしまう人には良い結末が来ることができません。しかし最善をつくして苦勞すればいつも良い結末を見るようになるという保障はないです。それなら最善をつくして努力して苦勞すれば必ず良い結末に到達するようになる秘訣がありますか？こんな質問に対して聖書に肯定的な返事があります。今日の本文にその返事があります。本文にはむなし結末をもたらすのが何やら指摘しました。ところで注意を深くよく見れば良い結末をもたらすのが何やらはっきりと現わして強調する表現方式というのが分かります。

### 第一は、主が家を建てられるのでなければ、建てる者の勤勞はむなし。と言いました。

イエス様はすべての人を家を建てる者に比喻しておっしゃいました。“それで、わたしのこれらの言葉を聞いて行うものを、岩の上に自分の家を建てた賢い人に比べることができよう。雨が降り、洪水が押し寄せ、風が吹いてその家に打ちつけても、倒れることはない。岩を土台としているからである。また、わたしのこれらの言葉を聞いても行わない者を、砂の上に自分の家を建てた愚かな人に比べることができよう。雨が降り、洪水が押し寄せ、風が吹いてその家に打ちつけると、倒れてしまう。そしてその倒れ方はひどいのである。”(マタイによる福音書 7:24~27)。費用と努力を入れて建てた家が蒼水と風によって崩れれば家を建てた人の努力と手数が無駄なものになります。一方にその家が堅く立っていればその家を建てた人の努力と手数が貴いものになります。結末が無駄ではなくなければなりません。私たちがどのようにすると結末が無駄ではないように生きて行くことができますか？今日の本文に“主エホバが家を建てなければ立てる者の手数が無駄だ”と言いました。イエス様の比喻をよく見れば“主エホバが立てる家”に対する意味が明白に現すのである。神様の言葉の上に家を建てることを意味します。聖書に記録された神様の言葉のどおり行うことを言います。

神様の言葉の上に家を建てた人々に対する記録が聖書にあります。ノアとその家族たちです。神様がノアに“わたしは、すべての人を絶やそうと決心した。彼らは地を暴虐で満したから、わたしは彼らを地とともに滅ぼそう。”告げました。

そして箱船を建てなさいとおっしゃって箱船の材料と規模と乾燥方法を詳しく知らせてくださいました。ノアは神様が命じたとおりすべて遵行しました。すると神様がおっしゃるのを“今から七日の後、わたしは四十日四十夜、地に雨を降らせて、わたしの造ったすべての生き物を、地のおもてからぬぐい去ります”(創世記 7:4) しました。果して七日後に始めて四十昼夜を雨が地に降り落ちました。そして生命の氣息ある肉体がすべて滅絶されたが箱船の内には生命体はすべて暮しました。120年間忍耐して神様の言葉どおり箱船を作ったノアの努力と手数は無駄ではなかったです。結末が良かったです。

### 二番目は、主エホバが町を守られるのでなければ、守る者のさめているのはむなし。

イスラエル民たちがエジプトしてからガナアンに到着した時ガナアンにいる町たちは大きくて堅固であり、人々は体格が壮大で強い武器と戦闘力がありました。しかし神様が彼らを捨てたからそんなことは無駄でした。ヨシュアがイスラエル民たちを導いて奇跡的にヨダン川を渡ったという消息を聞いたガナアン居民たちは驚愕しました。ジェリコ王は城門を固く閉めました。ジェリコ城は堅固な城なので城門だけ固く閉めていれば難攻不落でした。ジェリコ軍事たちは城を見張りするために万般の態勢を取り揃えました。しかしそういう見張りや防備が無駄になってしまいました。神様の指示どおりイスラエル民たちが毎日城を一回りずつ回って七日には七輪を回った後一斉に喊声を上げたらジェリコ城が崩れました。神様が保護してくれなければ番人の見張りが無駄です。

人は自分が成して取得したことを失わないようにあらゆる対策を立てます。まるで城を守るために番人を立てるようにします。ところで人が決して守ることができないことがあります。それは人の魂です。人の魂は罪によってこわれてしまって城郭が崩れた状態です。これを直して守ろうと教育を通じて知性を研いて、修養で徳性を涵養して、慈善と救済に力をつくして功德を積んで、宗教の戒律を守って儀式を行うが虚しい仕事です。私たちがどのようにすると私たちの魂を罪とサタンと地獄の権勢から守って行くことができますか？聖書に記録された歴史的な事件を通じてその返事を調べましょう。

ヤゴブが70人余りの家族を導いてエジプトに下がった時から400余年を過ごしながら甚だしく盛んでした。しかしエジプトの治者が変わりながらイスラエル民族はエジプト人々から奴隷のように虐待を受けました。神様はイスラエル子孫たちの叫ぶことを聞いてイスラエル子孫をエジプトで導き出そうとモセを送りました。モセはエジプト王、パロに行つてイスラエル子孫をエジプトから出すように要求しました。しかしパロが聞かないから神様がエジプト地に災いを下げ始めました。災いが連続されたがパロは曲げなかったです。すると十番目の災いが宣布されました。それはエジプト王から女のしもべ長子とすべての家畜の初めて生まれまで死ぬようになる災いでした。

しかしイスラエル民たちには災いを免れる道が提供されました。幼い羊を捕ってその血を家の入口の二つの柱と、かもいにそれを塗らなければならない。その家に血があれば災いにあわなくなります。

エジプト軍隊も、王宮の番人も神様の懲罰を阻むことができなかったです。死を免れる道は一つだけでした。それは幼い羊の血でした。幼い羊とその血はイエスキリストのあがないの死と流した血の模型で影です。人があらゆる手段と方法をすべて動員しても自分の魂を守ることができません。神様が保護してくれなければ滅亡という最悪の結末を避けることができません。イエスキリストを信じる人の魂は神様の面倒を見ることを受けている途中に天国に入る最上の結末が保障されています。

三番目は、あなたがたが起きて遅く横になって手数の餅を食べることが無駄だしました。

人は暮らすために食べなければならないし食べるためには働かなければなりません。幼い時から学校へ行って手まめに勉強して卒業すれば社会に進出して忙しく仕事しなければなりません。このように人が暮らすことに結んで走ってくりねずみ大禍回りそうだと見ればどの間に老けて衰えてしまいます。人が望むのがこの生だけならば人生と言うのははかなくて虚しいことに過ぎないです。伝道の書1章に記録されるのを“伝道者は言う、空の空、空の空、いっさいは空である。日の下で人が勞するすべての勞苦は、その身になんの益があるか。世は去り、世はきたる。しかし地は永遠に変わらない。”(伝道の書 1:2~4) しました。しかし伝道の書の最後の章にはこんなに結論を結びます。事の帰する所は、すべて言われた。すなわち、神を恐れ、その命令を守れ。これはすべての人の本分である。神はすべてのわざ、ならびにすべての隠れた事を善悪ともにさばかれるからである。

(伝道の書 12:13,14)。神様を敬い畏れて彼の命令を守る人にはこの世の中で行ったことが無益とか無意味にならないです。寝て覚めて、食べて働くのが皆意味いて価値のある事になります。神様を敬い畏れて彼の命令を守りながら生きて行けば彼が行ったすべての事がキリストの審判台の前に立つ時褒め言葉と賞を受けることができるようになります。

本文の終りには福福しい約束が追加されています。“主はその愛する者に、眠っている時にも、なくてはならぬものを与えられるからである。”

“主エホバが愛する者”は誰ですか？神様の言葉を聞いて行う人です。イエスキリストを信じてその魂が神様の保護の下にある人です。神様を敬い畏れてその命令を遵行する人です。神様がこのような人に寝ることをくださると言いました。懸念と恐ろしさを与える問題がある時にも神様がくださる奇妙な平安で眠るようになります。神様が安息と胆大さをくださるという意味でもあります。

結論を結びます。神様の言葉を離れて行う事は皆が虚しい仕事になります。家を立てる手数が無駄で城を守るのが無駄で早く起きて遅く横になって手数の糧を食べることが無駄です。神様の言葉を聞くばかりしなくて実践しなければなりません。魂が神様の保護を受けようとすればイエス様だけ信じなければなりません。神様を敬い畏れるのでその命令に従順しなければなりません。聖徒の皆さんはこんなに行なつて神様がくださる奇妙な平安と大胆のことで生きて行って、結末の良い人生になるように願います。